

東洋英和女学院大学大学院

2007年度前期入学試験

秋季選抜 問題

人間科学研究科 修士課程

(臨床心理学領域)

英	語
---	---

I. 英文を読み、以下の問いに答えよ。

出典 Blanck, G. & Blanck, R. (1993) : *Ego Psychology : Theory and Practice*.
New York : Columbia University Press, p185.

問1 下線部①のような場合、セラピストは具体的にどうすべきであった、と著者は考えているか？

問2 下線部②は、具体的に何か？

問3 下線部②の基礎にある哲学とは、何か？

問4 下線部③のような場合、セラピストは具体的にどうすべきであった、と著者は考えているか？

問5 下線部④とは何か？簡潔に答えよ。

II 次の英文を読んで、下の問いに答えなさい。

出典 Schafer, R. (1986): *Projective Testing and Psychoanalysis*.
New York: International Universities Press, p20.

問1 [A]に当てはまる英語1語は何か？

問2 下線部①は何を指しているのか？本文中より、該当する文章を日本語に訳しなさい。

問3 下線部①に関して、統合失調症者はどのような特徴を示すのか？本文中より、該当する文章を日本語に訳しなさい。

III. 英文を読み、以下の問いに答えよ。

出典 Roberts, M. C & Hirdi, S. S. (ed.) (2003) : *Handbook of Research Methods in Clinical Psychology*. Victoria, Australia: Blackwell, p53.

- 問1 臨床心理学的な研究を計画する際に、倫理的な問題に関してコンサルテーションが必要となるのはどのような場合か。本文に即して述べよ。
- 問2 臨床心理学的な研究を行なう際の risk と benefit の概念的上の違いについて、日本語で説明せよ。
- 問3 臨床心理学的研究を計画する際に考慮すべき risk にはどのようなものがあるか。あなたの考えを箇条書きにして述べよ。
-